

けでなく健康管理にも大きな支障が出ています。暑さ対策の一環として普通教室に扇風機の設置が必要では。

答 来年の6月に、市内の全小中学校に扇風機が設置できるように計画を進めている。

問 夏の暑い日、少年野球の練習を見かける時があり、子供たちの健康が心配になります。スポーツ少年団では、気温が高い日は、練習や試合を中止するなどの一定の基準を設けているのか。

答 基準は特になく、現在は、各団体を中心に健康管理を行っている。熱中症が多発しており、今後は、体育協会を始めとした関係団体が集まる会議などを活用して、暑さ対策を検討してまいります。

「アクションプラン」について
幸前 信雄 議員

問 「アクションプラン」の目標値が記載されていないが。

答 事務事業の概要、事務事業の工程表、事務事業にかかる事業費概要とその清算基礎で構成しており、目標値については、記載されていません。

問 現在、行政評価システムを構築していく過程で、総合計画推進会議などの場において、事務事業の目標設定方法等について調整を行なっているところですか。

問 「アクションプラン」の開始時期は。

答 平成23年4月1日です。

問 「行政評価システム運用でPDCAサイクルをまわすのか。

答 事業年度終了後に、内部評価の結果と、市民意識調査等の結果を(仮称)高浜市行政評価委員会による、外部評価の2段階で実施する。

問 (仮称)高浜市行政評価委員会とは、どういった視点で「事務事業評価」を実施するのか。

答 内部評価の妥当性を中心に、目標値の妥当性やコスト面での効率性の部分を評価いただく考えです。

問 成果に対する評価か、計画どおりに実施したことに對する評価か。

答 「成果に対する評価」と「計画どおりに実施したことの評価」の両方の視点で評価することを考えている。

問 「財政計画策定事業」では、長期で避けられない費用について、どのように財政計画に反映するのか。

答 公共施設のあり方検討委員会での議論や、扶助費の増加を見込んだ形で、検討していきたい。

教育行政について
浅岡 保夫 議員

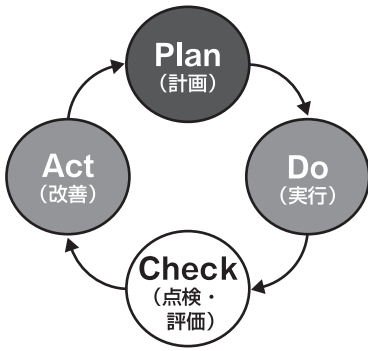
問 教育基本構想に掲げる高浜市における小中一貫教育に対する考え方とこれまでの取り組みについて。

答 今後の本市の学校作りに必要な展望は、若者が子どもを生み育てたい生育環境の創造、人々が住み続けたと思う居住環境の創造、安全、安心、健康であり続ける生活環境の創造、互いに人権を尊重し知性を磨く文化環境の創造、次代を担う市民を育てる教育環境の創造であります。

問 小1プロブレムや中1ギャップについて。

答 遊びから、教科の学習の授業に戸惑う子の増加、中学での生活や学習に適應できず、不登校などになります。そのため、各機関、各教職員相互の連絡や意見交換をしやすい一貫教育を進めていきます。

が育てる教育、地域に感謝する心を育てる教育、学力を保證する教育をめざします。そのため、体系的、組織的な教育を実現するために、小1プロブレムや中1ギャップなどに対応し、幼保小中学の学びをふまえた一貫教育のための指導法改善や教材開発を積極的に行い、市の文化や伝統を継承、発展のために各教科や総合的カリキュラムの再編を行います。



そうした環境創造を果たす基地としての学校づくりと町づくりの一体化が課題であるという共通認識を持つに至りました。そのために人々の繋がりを変えることに重点を置き、各学校教職員が一体となり、責任をもって自律的市民を育て、高浜カリキュラムを開発し、市全体を「市民の学び舎」にするという考えの基に各方面の代表者と大学関係者にて、教育基本構想案を作成し、説明会を開催しました。この中で地域に根ざし、地域

